

2004年8月2日

各位

三井化学株式会社

メチルペンテンポリマー(商標:TPX®)の生産能力増強について

当社(社長:中西宏幸)は、耐熱性、離型性、耐薬品性に優れた機能性オレフィン系ポリマーであるメチルペンテンポリマー(商標:TPX®)を製造・販売しております。現在、当該ポリマーの主要用途となっている情報電子関連分野及び産業材分野の市場拡大とニーズ増大により、需要が大幅に増加していることから、今般TPX®の生産能力増強を決定しました。

<増強計画の概要>

1. 製品:メチルペンテンポリマー
2. 商標:TPX®
3. 製造設備:岩国大竹工場内
4. 生産能力:13,000トン/年(5,500トン/年増強)
5. 増強内容:既存プラントの改造
6. スケジュール:着工 2005年5月
完工 2005年7月

TPX®は融点が230で他のポリオレフィンに比べ耐熱性に優れ、かつ透明性、離型性、耐薬品性にも優れた機能性オレフィンポリマーです。用途は、耐熱性・離型性を活かし、フレキシブルプリント基板用離型フィルム、LED(発光ダイオード)用樹脂型、合皮離型紙、ゴムホース製造用中芯(マンドレル)及び被覆材(シース)、洋菓子製造時に用いるベーキングカートンのような紙ラミ、また、透明性・耐薬品性を活かし、食品容器・化粧品容器・ラップフィルム等に用いられています。

当社は中期経営計画において、機能性ポリマーズ、情報・電子材料、ヘルスケア材料からなる機能性材料分野の拡大・成長を目指しております。そのなかで、機能性ポリマーズ分野は高収益事業への事業ポートフォリオ変革の中心的役割を担うべく、事業の拡大成長、新製品の開発に努めております。TPX®は近年の情報電子関係分野及び産業材分野の市場拡大とニーズの増大により、需要は海外も含め年率10%を超える割合で増大しており、加えて最近では新規用途も開発され、更なる需要増が見込まれております。そのため、TPX®事業の更なる拡大成長に向けて、生産能力の増強を決定したものです。

当社は、現在、岩国大竹工場に年産能力7,500トン/年のプラントを有しておりますが、本能力増強により2005年7月には年産能力が13,000トン/年へ拡大します。この生産能力増強により、既存用途の拡大とともに新規用途の開発を進め、機能性オレフィンポリマーの柱の一つとして事業の拡大・成長を図っていきます。

以上

本件に関するお問い合わせ先

三井化学株式会社 IR・広報室長 古賀義徳 03-6253-2100